

初の大舞台「迫力ある音色を」 八学光星高吹奏楽部 全国高総文祭出場へ

八戸

校舎に応援懸垂幕

八戸学院光星高(中村良寛校長)は3日、第49回全国高校総合文化祭(高総文祭、7月26〜31日、香川県)に出場する吹奏楽部を応援しようと、校舎に懸垂幕を設置した。部員たちは初の大舞台の前に「自分たちらしい演奏を」と意気込む。

同部の全国高総文祭への出場は創部以来初めて。昨年10月の県高総文祭の演奏を評価され、同11月に県代表に選出された。

懸垂幕は横0・7メートル、縦11メートル。部長の岡沼若奈さん(17)は「普通科特別進学コース3年」は「全国の舞台で吹けることにわくわくしている。自分たちの特徴である華やかで迫力ある音色を存分に響かせたい」と話した。

(向屋敦明)



懸垂幕を前に、全国での活躍を誓う部員